

週間漁海況情報—第4号

平成25年1月28日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

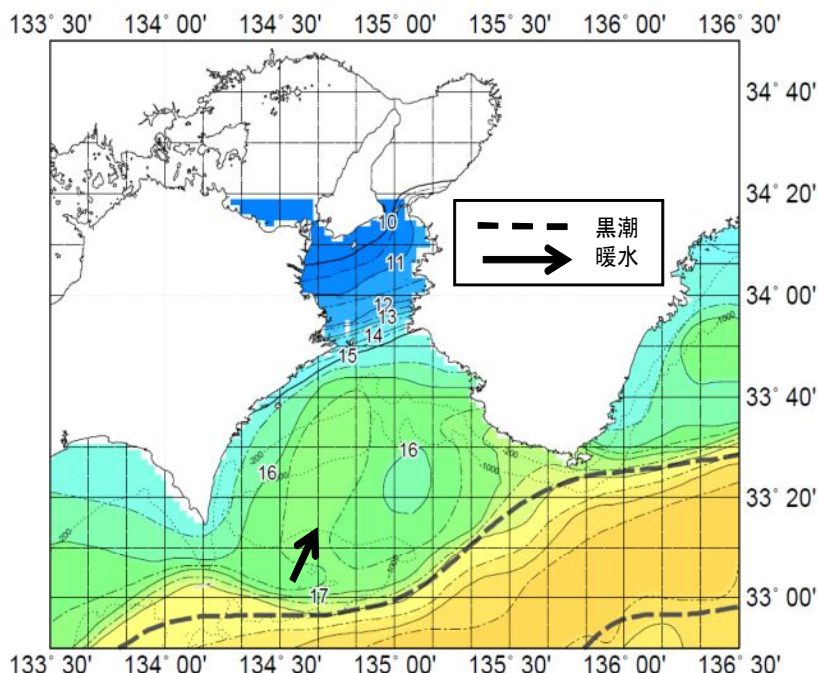
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

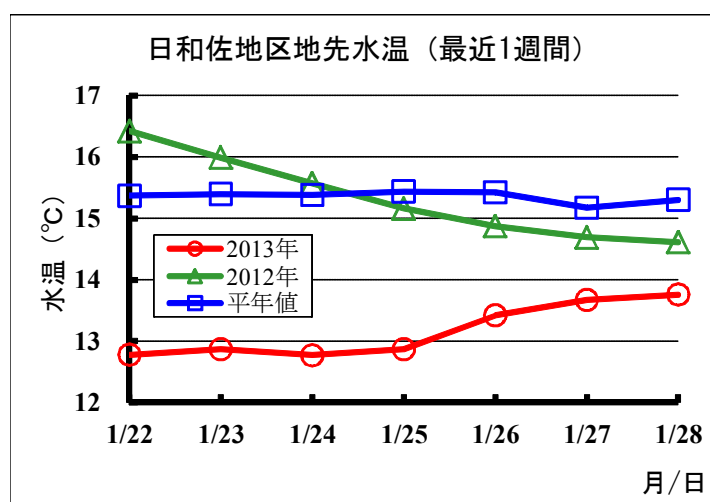
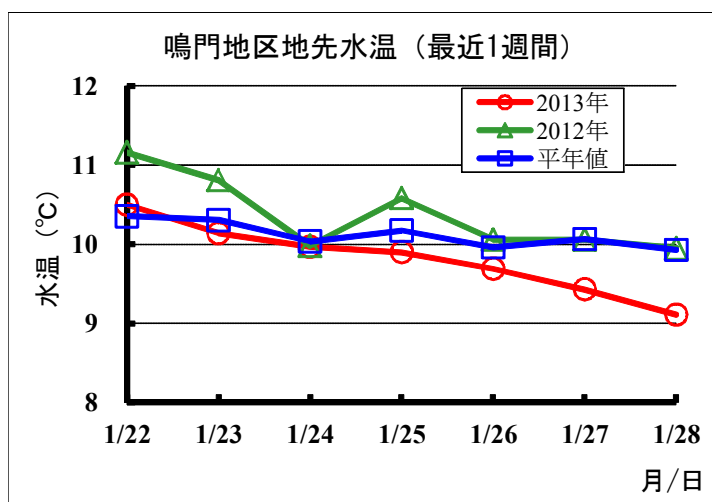
右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H25.1.28）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、19～20℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で9～10℃台、紀伊水道で9～14℃台、海部沿岸で14～16℃台である。紀伊水道外域では、広く暖水波及の影響を受け、海部沿岸では昇温傾向である。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「平年並み」の9.1～10.1℃、日和佐地区は「かなり低め」～「低め」の12.8～13.8℃、牟岐地区は「かなり低め」～「低め」の11.4～13.0℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、大主体にキダイが0.3トン（1日1隻あたり9kg）、大主体にサバフグが0.6トン（同26kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、カタクチイワシが0.4トン（同20kg）、アオリイカが0.4トン（同6kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、マメ主体にマアジが0.9トン（同93kg）、小小主体にマルアジが0.2トン（同20kg）、小主体にゴマサバが3.2トン（同320kg）、大・中主体にアオリイカが0.4トン（同37kg）、中主体にスルメイカが0.6トン（同60kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大主体にマアジが0.3トン（同9kg）、メジロが0.5トン（同19kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 1月21日～1月27日

県下6漁協から聞き取り

宗下も漁協から聞き取り						
漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出 漁隻数	漁獲量 (kg)	1日1隻当たり 漁獲量 (kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	キダイ	38	330	9	大主体
		サバフグ	21	555	26	大主体
小型定置網		カタクチイワシ	21	428	20	
		アオリイカ	64	352	6	
大型定置網		マアジ	10	933	93	マメ主体
		マルアジ	10	200	20	小小主体
		ゴマサバ	10	3,200	320	小主体
		アオリイカ	10	368	37	大・中主体
		スルメイカ	10	599	60	中主体
釣り		マアジ	34	309	9	大主体
		メジロ	26	500	19	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の1月23日～1月29日には、海部沿岸では、延縄で、大主体にサバフグが0.4トン、大主体にアマダイが0.3トン、カワハギが0.3トン、小型定置網で、アオリイカが0.8トン、カタクチイワシが1.3トン、マルソウダが0.5トン、中・小主体にメジナが0.4トン、大型定置網で、小小主体にシイラが1.5トン、マルソウダが0.2トン、中主体にマルアジが1.1トン、釣りで、大主体にアオリイカが0.9トン、中・大主体にマサバが0.6トン、大主体にゴマサバが2.5トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」～「接岸」、潮岬沖において「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「やや低め」～「平年並み」の9～10℃台、日和佐地先で「低め」～「やや低め」の12～13℃台で推移する見込み。